

農林水産省 那覇植物防疫事務所

主な採用区分

農学、林学、化学

那覇植物防疫事務所は、沖縄県内の5つの海空港に配置され、本所（那覇港）那覇空港出張所、嘉手納出張所、平良出張所、石垣出張所があり、「輸入検疫」「輸出および国内検疫」の2つの検疫部門がある。



輸入検疫関係の主な業務

01



台湾産コショウラン検査



タイ産精米検査



郵便物検査（インドネシア産苗）

01 港、空港、郵便局において、海外から輸入される植物に病害虫が付着していないか、ルーペやフルイを使って検査する。

02



ナスコナカイガラムシの染色画像



PCR検査のための試薬分注



台湾産パインの隔離栽培検査

02 輸入検査現場で同定（識別）出来なかった病害虫を、顕微鏡観察、PCR法、LAMP法等の遺伝子診断で検査する。一部の果樹苗は隔離栽培で検査する。

輸出・国内検疫関係の主な業務

沖縄から輸出する植物の検査、海外から飛来する害虫の侵入調査、沖縄地域だけに発生している病害虫のまん延防止や広報を行う。



インド向け輸出種子の栽培検定



ミバエ防除資材の設置



沖縄から持ちだせない植物の広報

こんな仕事もあります

JICA研修生の受入、日本向けの果物や植物などを現地の検査官と共同で検査する「海外検疫」、動植物検疫探知犬のハンドラーの業務もある。



JICA研修生（ミバエ殺虫コース）



海外検疫（オランダ球根検査）



検疫探知犬のハンドラー

*現在、那覇植物防疫事務所にハンドラーの枠はないので、ハンドラー希望者は、横浜植防、神戸植防など、県外の他の植物防疫所で勤務することになります。

先輩職員に聞く仕事の魅力！

輸入検疫担当
輸入検疫第3班

長谷川 翔哉

2023年4月採用

神戸植物防疫所 関西空港支所 配属

2025年4月 現職

私は、輸入検疫担当で外国から輸入される植物の病害虫の検査を行っています。港、郵便局、クルーズ船、さらに米軍基地内など、いろんな場所で多種多様な植物の検査を行っているので、日々新たな発見や学びがあり、とても楽しく業務に取り組んでいます。

同時に、様々な病害虫の発生、拡散が世界中で報告されている中で、日本の農業を水際で守るこの仕事に大きなやりがいを感じています。

大学時代は植物病理を専攻し、昆虫に関する知識はほとんどなく不安でしたが、初任者研修や経験豊富な上司のサポートのおかげもあり、今では自信を持って業務に取り組めるようになってきました。

興味のある方は、ぜひ説明会やインターンシップに参加してみてください。お待ちしております！

